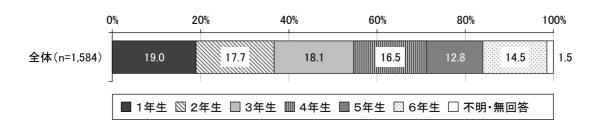
# 第2章 小学生保護者調査の結果

# 1 お子さんや家族の状況について

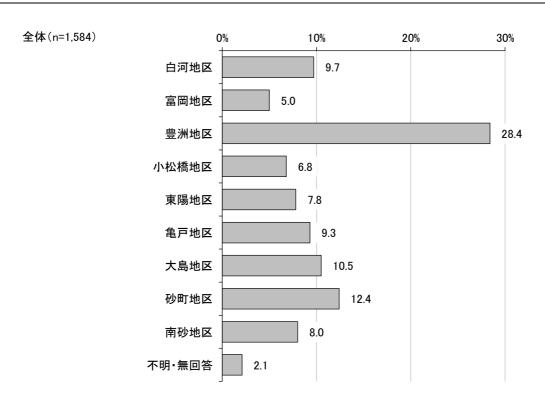
# 問1 お子さんの学年をお答えください。(1つに○)

こどもの学年についてみると、「1年生」が 19.0%と最も多く、次いで「3年生」が 18.1%となって います。



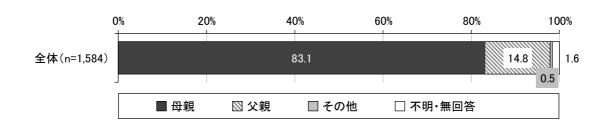
# 問2 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

居住地区についてみると、「豊洲地区」が 28.4%と最も多く、次いで「砂町地区」が 12.4%となっています。



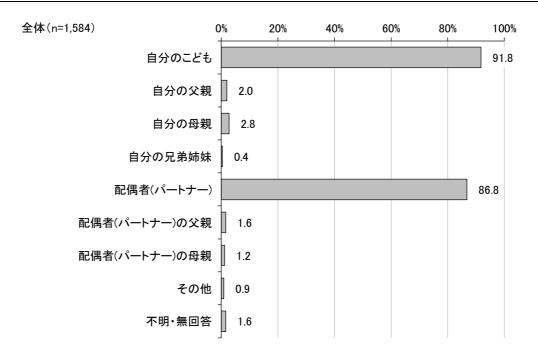
# 問3 回答されている方は、お子さんからみてどなたですか。(1つに○)

回答者についてみると、「母親」が83.1%と最も多く、次いで「父親」が14.8%となっています。



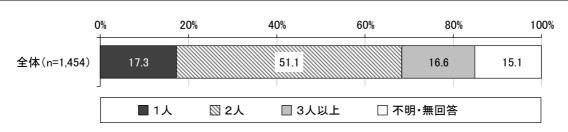
問4 同居しているご家族(あなたからみた続柄)はどなたですか。それぞれ人数も教えてください。(単身赴任しているご家族も含めてご回答ください。あてはまる番号すべてに〇、人数はカッコの中に数字を記入)

同居している家族についてみると、「自分のこども」が 91.8%と最も多く、次いで「配偶者(パートナー)」が 86.8%となっています。



## 【自分のこどもの人数】

同居している自分のこどもの人数についてみると、「2人」が 51.1%と最も多く、次いで「1人」が 17.3%となっています。



# 【自分の兄弟姉妹の人数】

同居している自分の兄弟姉妹の人数についてみると、「1人」が85.7%となっています。

全体(n=7)	件数	%
1人	6	85.7
2人	0	0.0
3人以上	0	0.0
不明•無回答	1	14.3

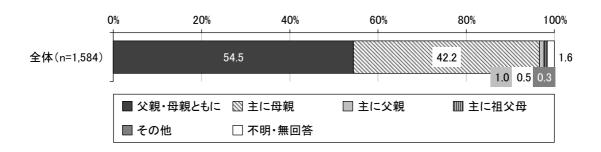
## 【その他の人数】

同居しているその他の人数についてみると、「1人」と「2人」がそれぞれ42.9%となっています。

全体(n=14)	件数	%
1人	6	42.9
2人	6	42.9
3人以上	0	0.0
不明·無回答	2	14.3

# 問5 お子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。(1つに〇)

子育てを主にしている人についてみると、「父親・母親ともに」が 54.5%と最も多く、次いで「主に 母親」が 42.2%となっています。

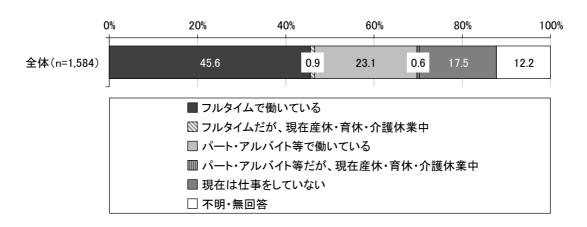


問6 お子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。

- ※フルタイムとは週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはフルタイム以外の就労をいいます。
- ※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をご記入ください。
- ※就労日数が一定でない場合は最も多いパターンをご記入ください。
- ※自宅で仕事をされている方の就労時間は仕事の開始時間と終了時間を就労時間としてください。

## (1) 母親の就労状況(1つに○)

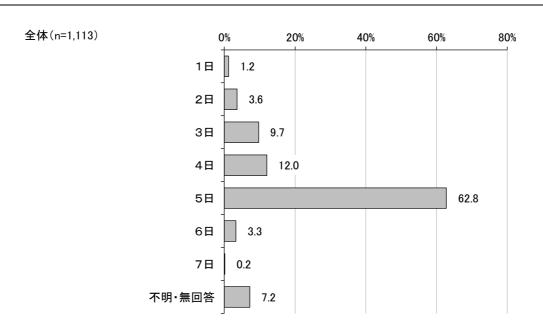
母親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が 45.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で働いている」が 23.1%となっています。



①~⑤は問6(1)で「フルタイムで働いている」「フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中」「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中」を選んだ方

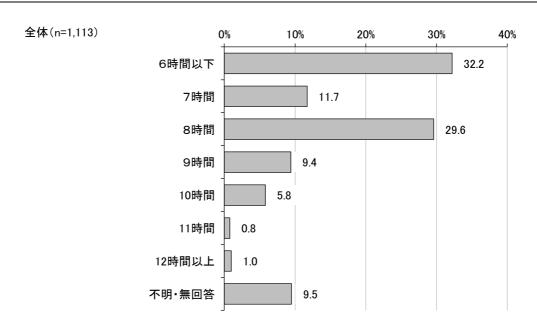
# ①就労日数【母親】

母親の週あたりの就労日数についてみると、「5日」が 62.8%と最も多く、次いで「4日」が 12.0% となっています。



# ②平均就労時間(残業含む)【母親】

母親の1日あたりの平均就労時間(残業含む)についてみると、「6時間以下」が 32.2%と最も多く、 次いで「8時間」が 29.6%となっています。



## ③平均的な家を出る時刻【母親】

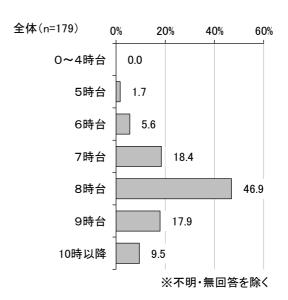
母親の平均的な家を出る時刻についてみると、平日は「8時台」が 48.4%と最も多く、次いで「7時台」が 17.6%となっています。

土日祝は、「8時台」が 46.9%と最も多く、次いで「7時台」が 18.4%となっています。

# ■平日

#### 全体(n=1,113) 0% 20% 40% 60% 0~4時台 0.2 5時台 0.4 6時台 1.8 7時台 17.6 8時台 48.4 16.0 9時台 10時以降 不明•無回答 10.2

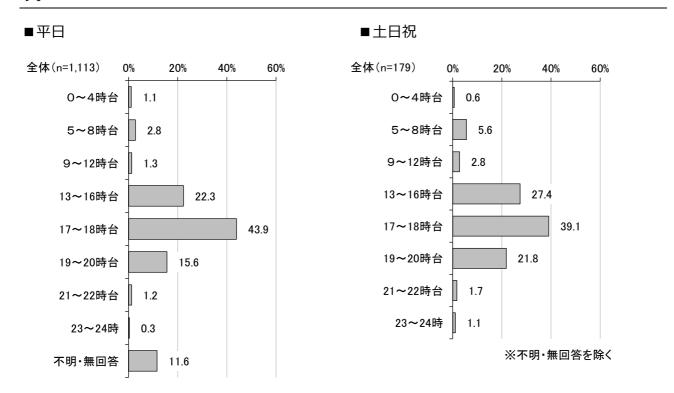
#### ■土日祝



#### ④平均的な帰宅時刻【母親】

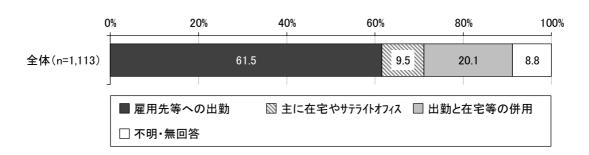
母親の平均的な帰宅時刻についてみると、平日は「17~18 時台」が 43.9%と最も多く、次いで 「13~16 時台」が 22.3%となっています。

土日祝は、「17~18 時台」が 39.1%と最も多く、次いで「13~16 時台」が 27.4%となっています。



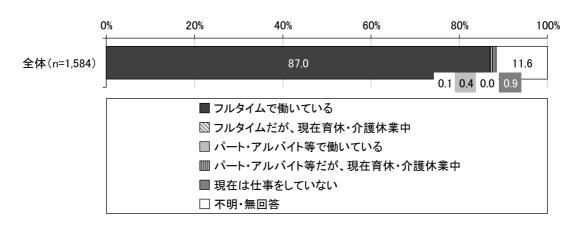
#### ⑤勤務形態【母親】

母親の勤務形態についてみると、「雇用先等への出勤」が 61.5%と最も多く、次いで「出勤と在宅等の併用」が 20.1%となっています。



# (2) 父親の就労状況(1つに○)

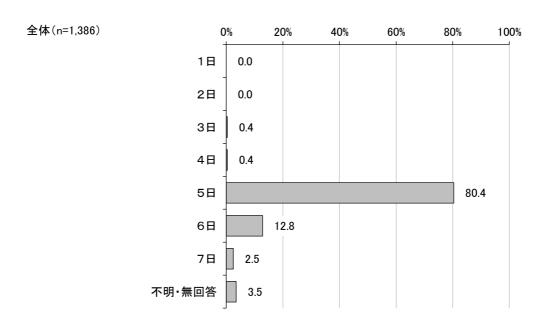
父親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が 87.0%と最も多く、次いで「現在は 仕事をしていない」が 0.9%となっています。



①~⑤は問6(2)で「フルタイムで働いている」「フルタイムだが、現在育休・介護休業中」「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在育休・介護休業中」を選んだ方

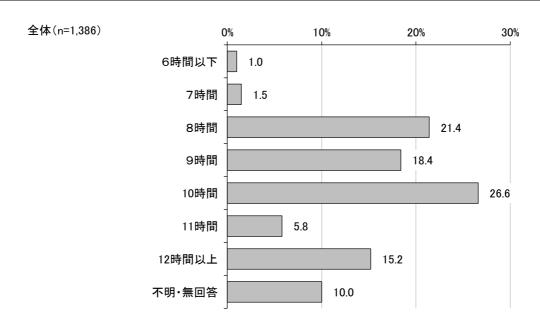
## ①就労日数【父親】

父親の週あたりの就労日数についてみると、「5日」が 80.4%と最も多く、次いで「6日」が 12.8% となっています。



# ②平均就労時間(残業含む)【父親】

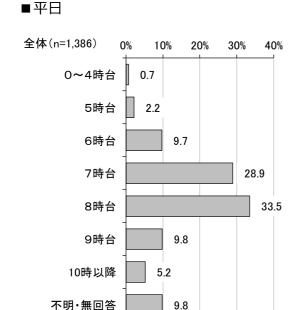
父親の1日あたりの平均就労時間(残業含む)についてみると、「10 時間」が 26.6%と最も多く、次 いで「8時間」が 21.4%となっています。



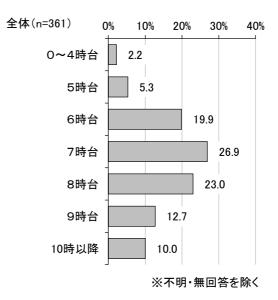
## ③平均的な家を出る時刻【父親】

父親の平均的な家を出る時刻についてみると、平日は「8時台」が 33.5%と最も多く、次いで「7時台」が 28.9%となっています。

土日祝は、「7時台」が 26.9%と最も多く、次いで「8時台」が 23.0%となっています。



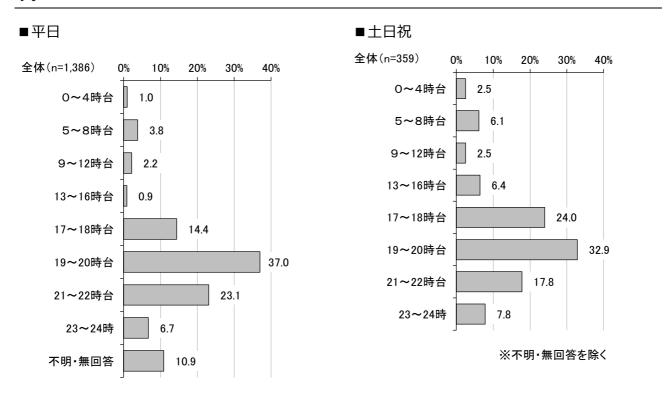
#### ■土日祝



# ④平均的な帰宅時刻【父親】

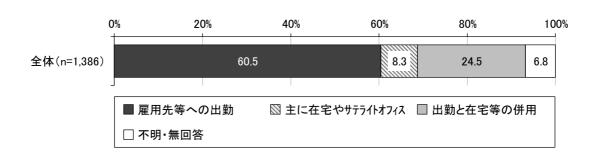
父親の平均的な帰宅時刻についてみると、平日は「19~20 時台」が 37.0%と最も多く、次いで「21~22 時台」が 23.1%となっています。

土日祝は、「19~20 時台」が 32.9%と最も多く、次いで「17~18 時台」が 24.0%となっています。



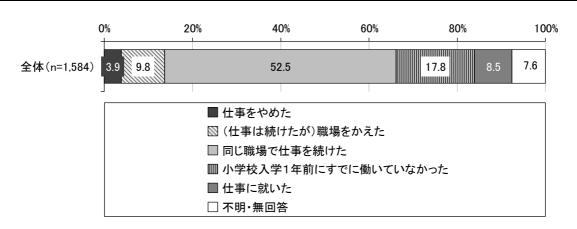
## ⑤勤務形態【父親】

父親の勤務形態についてみると、「雇用先等への出勤」が 60.5%と最も多く、次いで「出勤と在宅等の併用」が 24.5%となっています。



# 問7 お子さんが小学校入学の1年前から入学の1年後までの間に、母親の方の働き方に変化がありましたか。(1つに $\bigcirc$ )

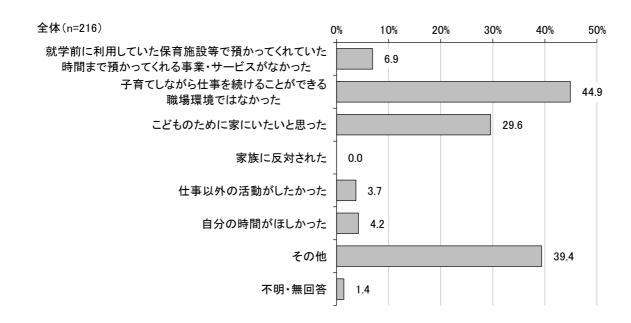
こどもの小学校入学の1年前から入学の1年後までの間に、母親の働き方に変化があったかについてみると、「同じ職場で仕事を続けた」が 52.5%と最も多く、次いで「小学校入学1年前にすでに働いていなかった」が 17.8%となっています。



#### 問7で「仕事をやめた」「(仕事は続けたが) 職場をかえた」を選んだ方

問8 仕事をやめたり、職場をかわった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

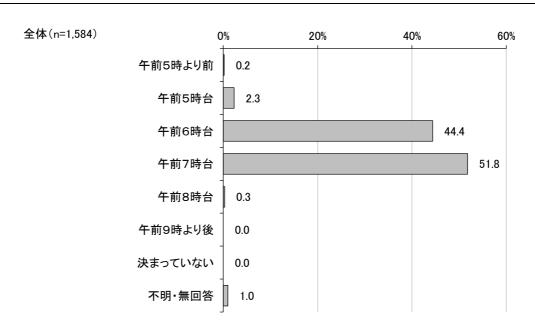
仕事をやめたり、職場をかわった理由についてみると、「子育てしながら仕事を続けることができる職場環境ではなかった」が 44.9%と最も多く、次いで「その他」が 39.4%となっています。「その他」 の回答では、「キャリアアップのため」、「こどもの習い事のため」などの意見があります。



# 2 お子さんの日常生活について

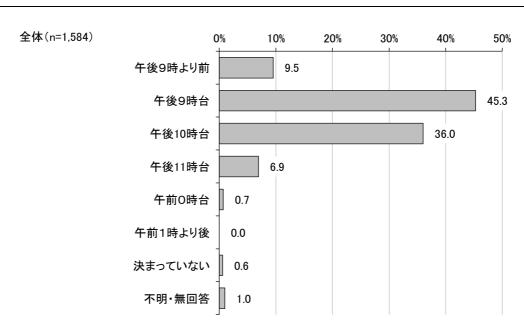
# 問9 お子さんは、平日(月曜日~金曜日)、何時に起きていますか。(1つに〇)

平日の起床時間についてみると、「午前7時台」が 51.8%と最も多く、次いで「午前6時台」が 44.4%となっています。



問 10 お子さんは、平日(月曜日~金曜日)、何時に寝ていますか。(1つに○)

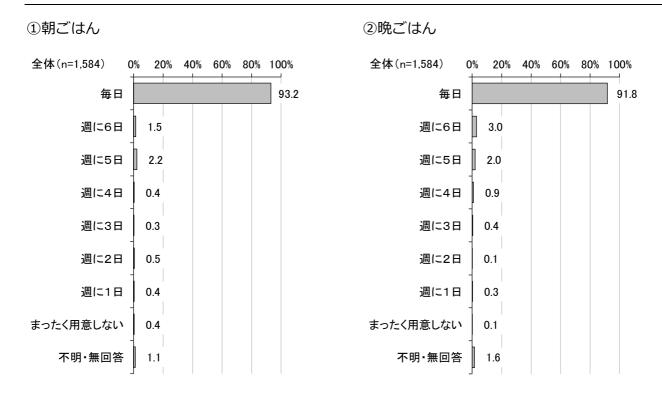
平日の就寝時間についてみると、「午後9時台」が 45.3%と最も多く、次いで「午後 10 時台」が 36.0%となっています。



問 11 あなたのご家庭では、1週間にどれくらいお子さんに朝ごはん、晩ごはんを用意していますか。 (それぞれ、あてはまる番号 1 つに $\bigcirc$ )

1週間にどれくらいこどもに朝ごはんを用意しているかについてみると、「毎日」が 93.2%と最も多く、次いで「週に5日」が 2.2%となっています。

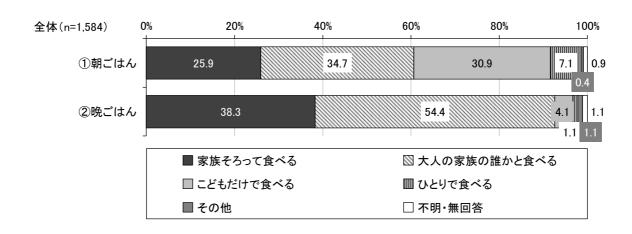
晩ごはんでは、「毎日」が 91.8%と最も多く、次いで「週に6日」が 3.0%となっています。



問 12 お子さんは、普段の朝ごはん、晩ごはんをどのように食事していますか。 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

朝ごはんをどのように食事しているかについてみると、「大人の家族の誰かと食べる」が 34.7%と 最も多く、次いで「こどもだけで食べる」が 30.9%となっています。

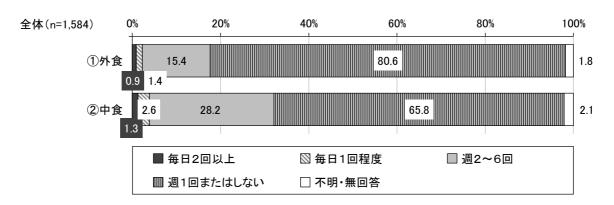
晩ごはんでは、「大人の家族の誰かと食べる」が 54.4%と最も多く、次いで「家族そろって食べる」 が 38.3%となっています。



- 問 13 あなたのご家庭では、お子さんの食事について外食や中食がどのくらいの頻度でありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)
- ※「外食」: レストランなどの飲食店に行き、そこで食事をすることをいいます。
- ※「中食」: 市販のお弁当やお惣菜、家庭外で調理・加工された食品を、家庭でそのまま食べることをいいます。

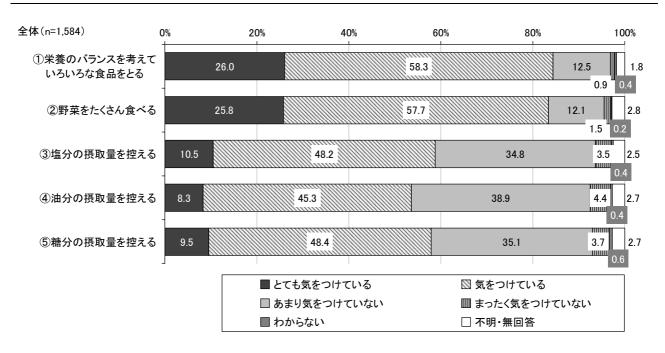
外食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 80.6%と最も多く、次いで「週2~6回」が 15.4%となっています。

中食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 65.8%と最も多く、次いで「週2~6回」が 28.2%となっています。



問 14 あなたのご家庭では、お子さんの食生活について、どのような点に気をつけていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

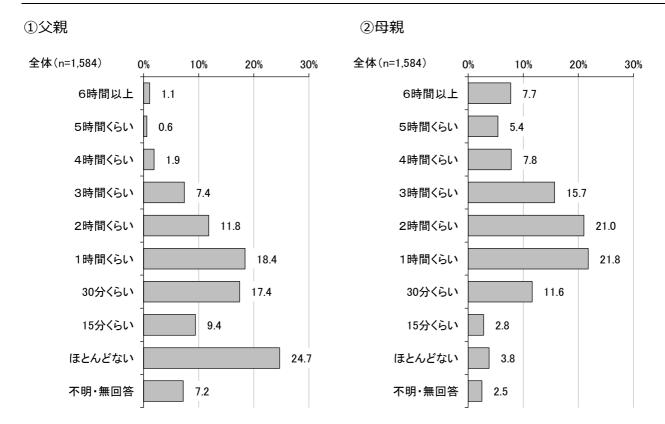
①及び②では「とても気をつけている」と「気をつけている」を合わせた割合が 80%以上となっていますが、③、④及び⑤では「あまり気をつけていない」が 30%台となっています。



問 15 平日にお子さんと一緒に何かをしたりする時間は、平均するとだいたいどのくらい になりますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

平日にこどもと一緒に何かをしたりする時間についてみると、父親では「ほとんどない」が 24.7% と最も多く、次いで「1時間くらい」が 18.4%となっています。

母親では、「1時間くらい」が 21.8%と最も多く、次いで「2時間くらい」が 21.0%となっています。

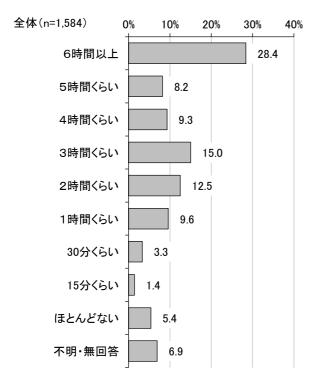


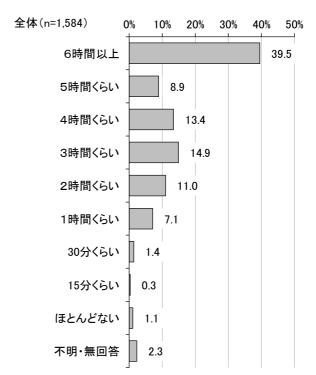
問 16 休日(学校がお休みの日)にお子さんと一緒に何かをしたりする時間は、平均する とだいたいどのくらいになりますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに〇)

休日にこどもと一緒に何かをしたりする時間についてみると、父親では「6時間以上」が 28.4%と 最も多く、次いで「3時間くらい」が 15.0%となっています。

母親では、「6時間以上」が39.5%と最も多く、次いで「3時間くらい」が14.9%となっています。

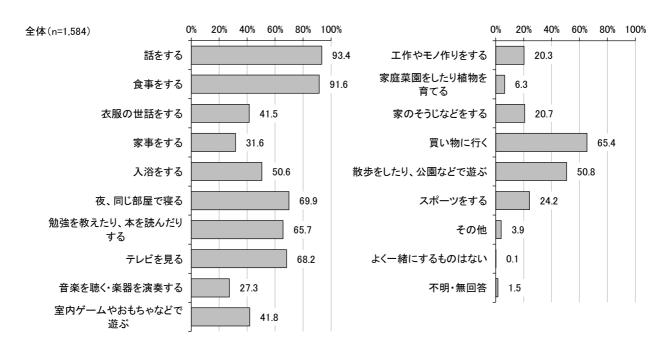






# 問 17 あなたが、お子さんとよく一緒にすることは、次のうちどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

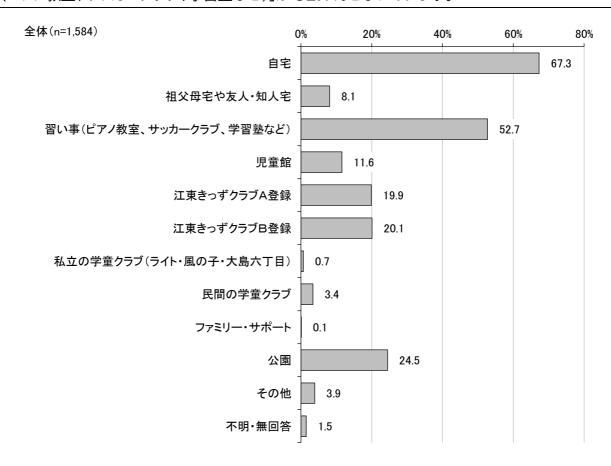
こどもとよく一緒にすることについてみると、「話をする」が 93.4%と最も多く、次いで「食事をする」が 91.6%となっています。



# 3 お子さんの放課後の過ごし方について

- 問 18 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどこで過ごしていますか。 (あてはまるものすべてに $\bigcirc$ )
  - ※児童館にあるきっずクラブを利用している場合は「江東きっずクラブ B 登録」に ○印をつけてください。

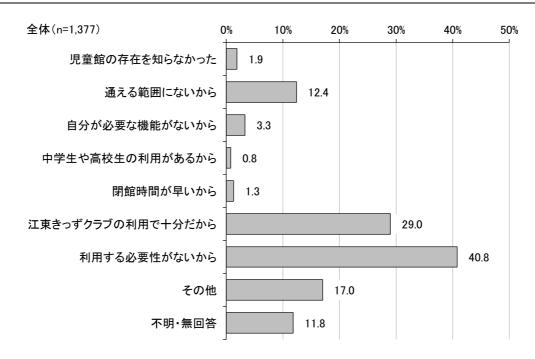
放課後の時間を過ごしている場所についてみると、「自宅」が 67.3%と最も多く、次いで「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 52.7%となっています。



## 問 18 で「児童館」に回答しなかった方

問 19 宛名のお子さんが児童館を利用しない理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに())

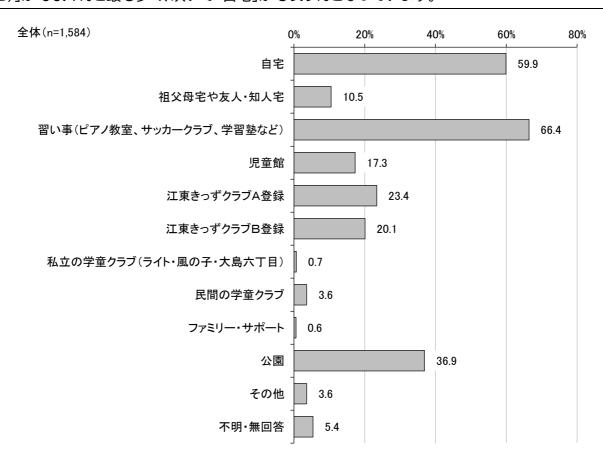
児童館を利用しない理由についてみると、「利用する必要性がないから」が 40.8%と最も多く、次いで「江東きっずクラブの利用で十分だから」が 29.0%となっています。



- 問 20 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのように過ごさせたい と思いますか。
  - (1) のあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ日数を(2) にご記入ください。また、(1) で「児童館」「江東きっずクラブ A 登録」「江東きっずクラブ B 登録」「私立の学童クラブ(ライト・風の子・大島六丁目)」「民間の学童クラブ」「ファミリー・サポート」を選んだ方は、(3) に何年生まで利用したいかの希望をご記入ください。
  - ※児童館にあるきっずクラブを利用したい場合は「江東きっずクラブ B 登録」に〇 印をつけてください。

# (1)過ごさせたい場所

放課後の時間を過ごさせたい場所についてみると、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 66.4%と最も多く、次いで「自宅」が 59.9%となっています。



## (2) 利用希望日数

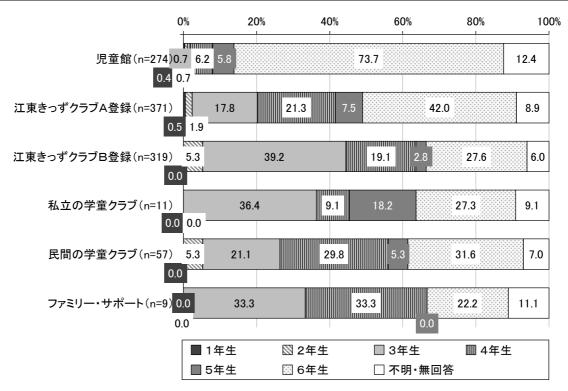
利用希望日数についてみると、自宅、習い事、民間の学童クラブ、公園、その他では「2日」、祖父母宅や友人・知人宅、児童館、江東きっずクラブ A 登録、ファミリー・サポートでは「1日」、江東きっずクラブB登録では「5日」が最も多くなっています。

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明·無回答
自宅	949	18.3	28.3	20.2	7.7	14.8	1.8	5.8	3.1
祖父母宅や友人・知人宅	167	59.9	23.4	8.4	1.8	4.2	0.6	0.0	1.8
習い事	1,051	14.1	35.2	31.9	9.8	6.5	0.9	0.2	1.5
児童館	274	44.9	26.6	11.7	5.1	4.7	0.0	1.8	5.1
江東きっずクラブA登録	371	24.8	19.4	21.0	9.4	18.6	0.8	0.5	5.4
江東きっずクラブB登録	319	4.1	10.3	20.7	6.9	51.4	3.1	0.6	2.8
私立の学童クラブ	11	27.3	0.0	18.2	18.2	27.3	0.0	0.0	9.1
民間の学童クラブ	57	15.8	40.4	17.5	3.5	17.5	0.0	0.0	5.3
ファミリー・サポート	9	55.6	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
公園	584	26.5	30.7	22.4	5.5	8.9	0.3	2.4	3.3
その他	57	24.6	29.8	15.8	7.0	19.3	0.0	0.0	3.5

(1)で「児童館」「江東きっずクラブA登録」「江東きっずクラブB登録」「私立の学童クラブ(ライト・風の子・大島六丁目)」「民間の学童クラブ」「ファミリー・サポート」を選んだ方

#### (3) 利用したい学年

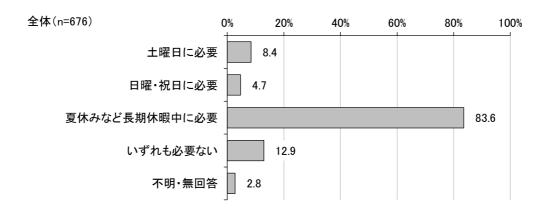
利用したい学年についてみると、児童館、江東きっずクラブA登録、民間の学童クラブでは「6年生」、 江東きっずクラブB登録、私立の学童クラブでは「3年生」が最も多くなっています。



問 20 で「江東きっずクラブ A 登録」「江東きっずクラブ B 登録」「私立の学童クラブ(ライト・風の子・大島六丁目)」「民間の学童クラブ」を選んだ方

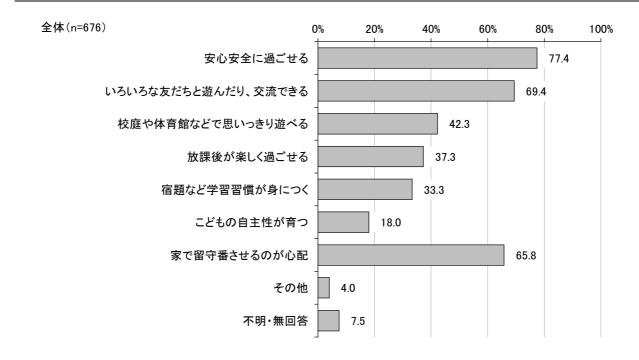
問 21 お子さんは、土曜日、日曜・祝日や夏休みなどの長期休暇中の利用が必要ですか。 なお、利用にあたっては、一定の利用料がかかります。 (あてはまるものすべてに())

土曜日、日曜・祝日や夏休みなどの長期休暇中の利用が必要かについてみると、「夏休みなど長期休暇中に必要」が83.6%と最も多く、次いで「いずれも必要ない」が12.9%となっています。



# 問 22 利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

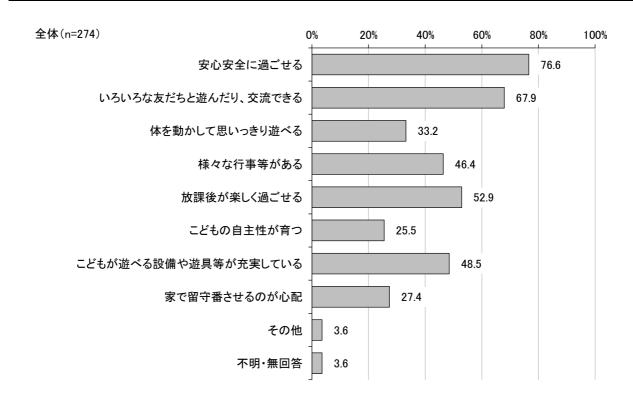
利用したい理由についてみると、「安心安全に過ごせる」が 77.4%と最も多く、次いで「いろいろな友だちと遊んだり、交流できる」が 69.4%となっています。



#### 問20で「児童館」を選んだ方

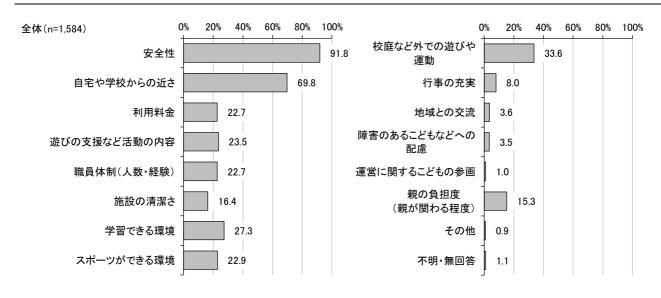
# 問 23 利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

児童館を利用したい理由についてみると、「安心安全に過ごせる」が 76.6%と最も多く、次いで「いろいろな友だちと遊んだり、交流できる」が 67.9%となっています。



問24 こどもが放課後を過ごす場所として、どのような点を重視しますか。(3つまで○)

こどもが放課後を過ごす場所として重視する点についてみると、「安全性」が 91.8%と最も多く、次 いで「自宅や学校からの近さ」が 69.8%となっています。



# 4 江東区の子育て環境などについて

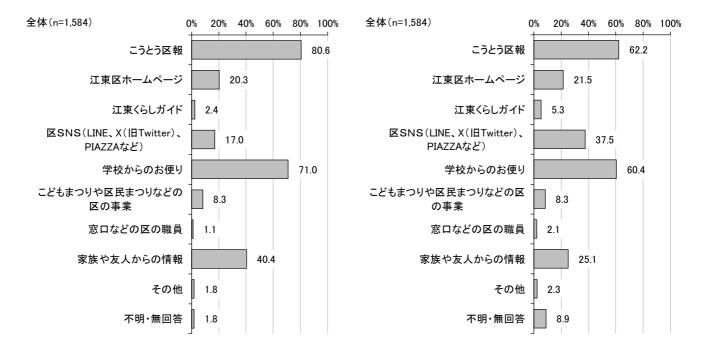
問 25 あなたは、こどもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。 また、今後受け取りたいですか。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

こどもに関する施策等の情報の現在の受け取り方法についてみると、「こうとう区報」が 80.6%と 最も多く、次いで「学校からのお便り」が 71.0%となっています。

今後、受け取りたい方法では、「こうとう区報」が 62.2%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が 60.4%となっています。

#### A 現在の受け取り方法

#### B 今後、受け取りたい方法



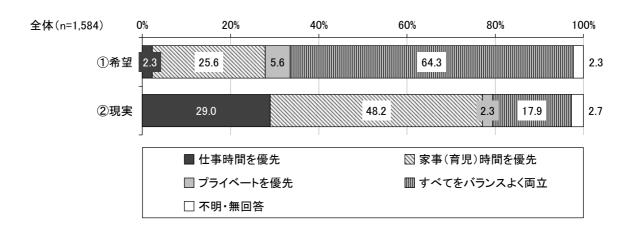
問 26 仕事の時間と家庭生活の時間について、希望としてはどのように考えますか。また 現実としてはどのようになっていますか。(①希望と②現実にそれぞれ1つ記入)

# (1) 母親

母親の希望についてみると、「すべてをバランスよく両立」が 64.3%と最も多く、次いで「家事(育児)時間を優先」が 25.6%となっています。

現実では、「家事(育児)時間を優先」が 48.2%と最も多く、次いで「仕事時間を優先」が 29.0%となっています。

現実と理想の比較をみると、「仕事時間を優先」としている母親の4割弱が「家事(育児)時間を優先」、5割が「すべてをバランスよく両立」と回答しています。



#### ○クロス集計【現実と理想の比較】

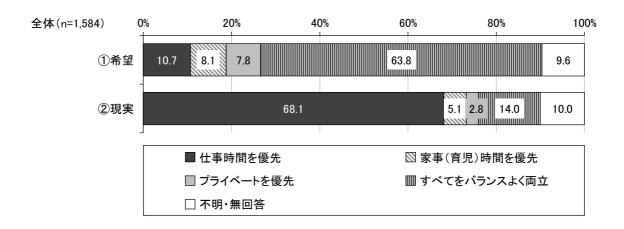
6			問26 母親-希望							
(%)				家事(育 児)時間を 優先	プライベート を優先	すべてをバ ランスよく両 立	不明·無回 答			
45	仕事時間を優先	459	0.4	39.9	4.4	55.1	0.2			
問26	家事(育児)時間を優先	763	3.5	23.1	6.7	65.9	0.8			
母親-現実	プライベートを優先	37	5.4	29.7	24.3	40.5	1			
	すべてをバランスよく両立	283	1.8	10.6	3.2	84.5	£ <del></del>			

# (2) 父親

父親の希望についてみると、「すべてをバランスよく両立」が 63.8%と最も多く、次いで「仕事時間を優先」が 10.7%となっています。

現実では、「仕事時間を優先」が 68.1%と最も多く、次いで「すべてをバランスよく両立」が 14.0% となっています。

現実と理想の比較をみると、「仕事時間を優先」としている父親の7割弱が「すべてをバランスよく両立」と回答しています。

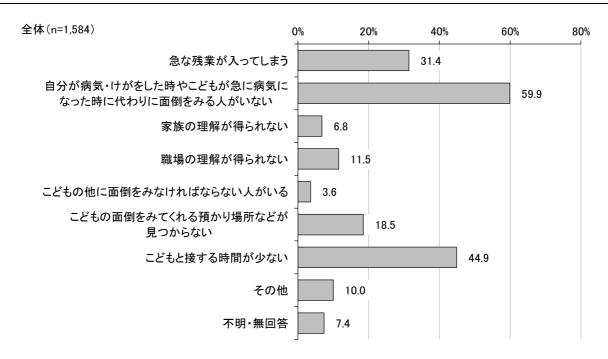


## ○クロス集計【現実と理想の比較】

(%)			問26 父親-希望								
			仕事時間を 優先	家事(育 児)時間を 優先	プライベート を優先	すべてをバ ランスよく両 立	不明·無回 答				
	仕事時間を優先	1,079	10.9	10.4	8.6	69.8	0.3				
問26	家事(育児)時間を優先	80	21.3	6.3	10.0	62.5	1000				
父親-現実	プライベートを優先	45	26.7	11.1	28.9	33.3	19-				
	すべてをバランスよく両立	221	10.0	2.3	3.6	83.3	0.9				

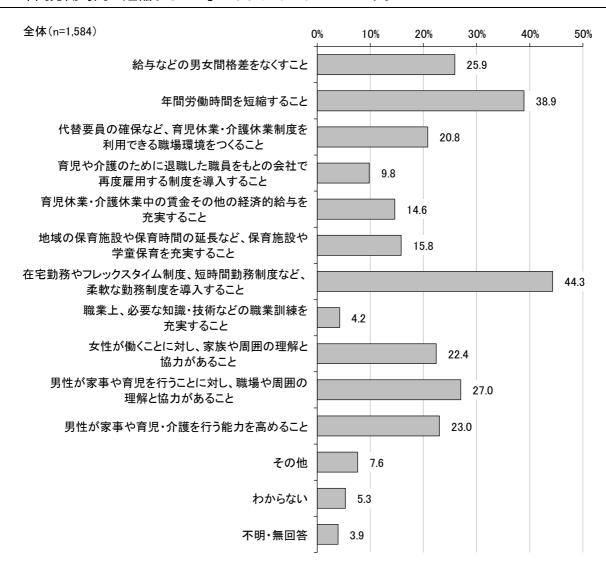
# 問 27 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。 (あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについてみると、「自分が病気・けがをした時やこどもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が 59.9%と最も多く、次いで「こどもと接する時間が少ない」が 44.9%となっています。



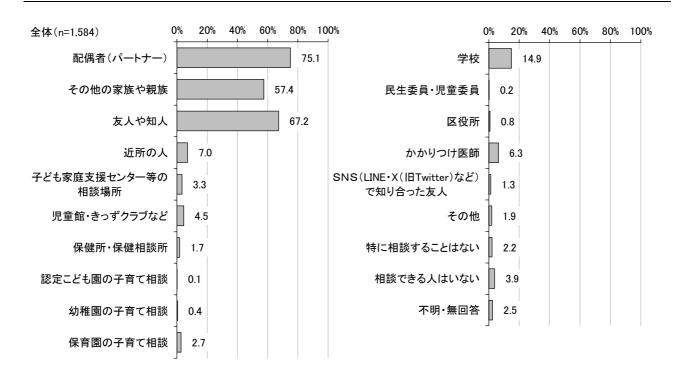
問 28 ワーク・ライフ・バランスを実現させるためには、どのような取組が必要だと感じますか。(もっとも重要だと思うもの3つまで○)

ワーク・ライフ・バランスを実現させるために必要だと感じる取組についてみると、「在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度など、柔軟な勤務制度を導入すること」が 44.3%と最も多く、次いで「年間労働時間を短縮すること」が 38.9%となっています。



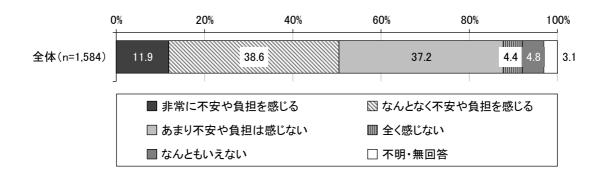
# 問 29 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所等はありますか。 (あてはまるものすべてに〇)

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所等についてみると、「配偶者(パートナー)」が 75.1% と最も多く、次いで「友人や知人」が 67.2%となっています。



問30 子育てに関して不安感や負担感を感じていますか。(1つに○)

子育てに関して不安感や負担感を感じているかについてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が 38.6%と最も多く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が 37.2%となっています。

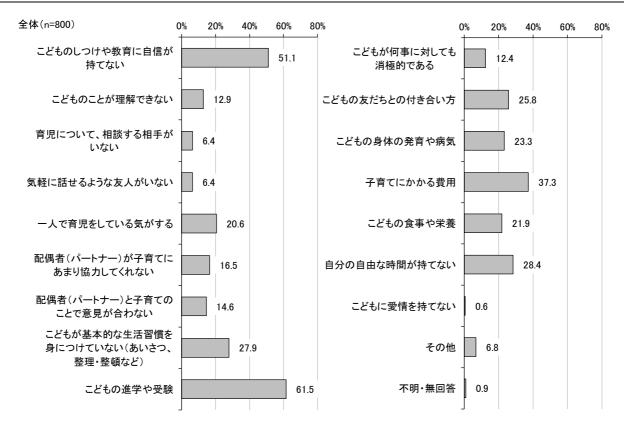


問30で「非常に不安や負担を感じる」「なんとなく不安や負担を感じる」を選んだ方

問 31 子育てに関して、どのような不安感や負担感を感じていますか。 (あてはまるものすべてに○)

子育てに関して感じている不安感や負担感についてみると、「こどもの進学や受験」が 61.5%と最も多く、次いで「こどものしつけや教育に自信が持てない」が 51.1%となっています。

こどもをたたいた経験有無別にみると、「ときどきあった」では「こどものしつけや教育に自信が持てない」と「こどもの進学や受験」で6割の回答があります。



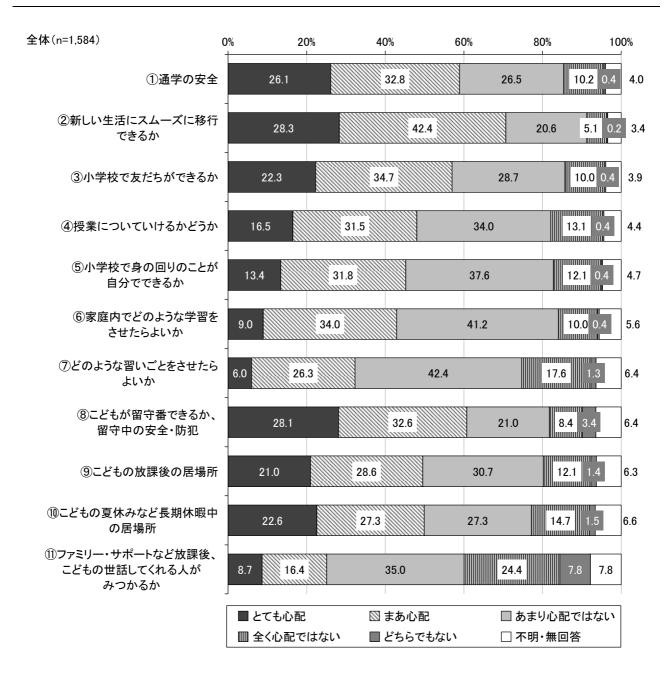
#### ○クロス集計【こどもをたたいた経験有無別】

		問31子育での不安感や負担感									
	(%)	n	こどものし つけや教育 に自信が持 てない	こどものこと が理解でき ない	育児につい て、相談す る相手がい ない	気軽に話せ るような友 人がいない	をしている 気がする	育てにあま	配偶者 (パートナー) と子育てのことで意見が合わない	こどもが基本的な生活 習慣を身に つけていない(あいさ つ、整理・ 整頓など)	こどもの准
14	たたいたことは1度もない	156	44.9	8.3	6.4	5.8	13.5	12.2	9.0	17.3	54.5
問44 こどもをたたい	ごくまれにあった	431	48.3	11.8	6.3	6.0	21.6	18.1	16.0	29.9	63.3
た経験	ときどきあった	196	63.3	19.4	6.1	7.1	24.0	17.3	17.3	32.1	62.2
7 = 11.11.2X	日常的にあった	4	75.0	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	100.0

		問31 子育	ての不安感や	負担感						r	
(%)		n	こどもが何 事に対して も消極的で ある	+++ LAH	こどもの身 体の発育や 病気	子育でにかかる費用	こどもの食事や栄養	自分の自由な時間が持てない		その他	不明·無回 答
	たたいたことは1度もない	156	10.3	26.3	15.4	40.4	26.9	30.1	_	9.0	-
問44 こどもをたたい	ごくまれにあった	431	10.4	25.8	25.3	37.6	20.2	29.7	0.5	5.8	0.9
もをにたいた経験	ときどきあった	196	17.9	26.0	25.5	35.2	20.4	24.0	1.5	6.6	1.5
ノンリエリス	日常的にあった	4	50.0	25.0	50.0	50.0	50.0	75.0	-	25.0	-

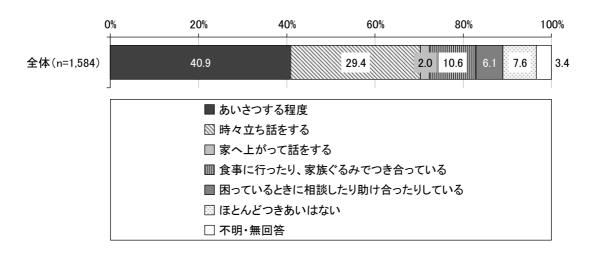
# 問 32 お子さんが小学校に入学した時に心配だったことについて、その程度をお答えください。(それぞれ、あてはまる番号1つに〇)

「とても心配」と「まあ心配」を合わせた割合が最も多かったのは、「②新しい生活にスムーズに移行できるか」で 70.7%となっています。次いで、「⑧こどもが留守番できるか、留守中の安全・防犯」が 60.7%となっています。



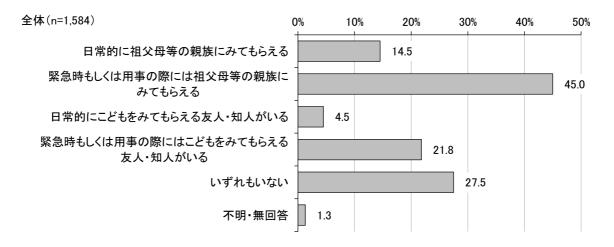
## 問33 近所や地域の人とのおつきあいはどの程度ですか。(1つに○)

近所や地域の人とのつきあいの程度についてみると、「あいさつする程度」が 40.9%と最も多く、 次いで「時々立ち話をする」が 29.4%となっています。



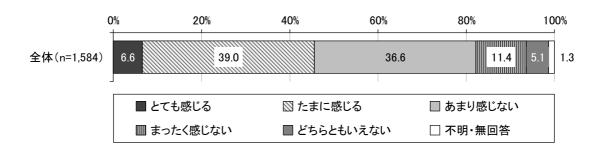
問 34 日ごろ、お子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。 (あてはまるものすべてに○)

日ごろ、こどもを預かってもらえる親族・知人はいるかについてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が45.0%と最も多く、次いで「いずれもいない」が27.5%となっています。



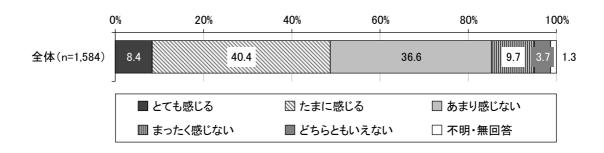
# 問 35 あなたは、江東区で子育てをしていて、地域で支えられていると感じますか。 (1つに○)

江東区で子育てをしていて、地域で支えられていると感じるかについてみると、「たまに感じる」が 39.0%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 36.6%となっています。



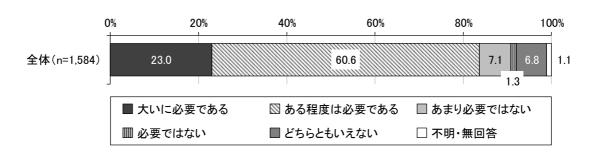
問36 あなたは、こどもが地域に見守られていると感じますか。(1つに○)

こどもが地域に見守られていると感じるかについてみると、「たまに感じる」が 40.4%と最も多く、 次いで「あまり感じない」が 36.6%となっています。



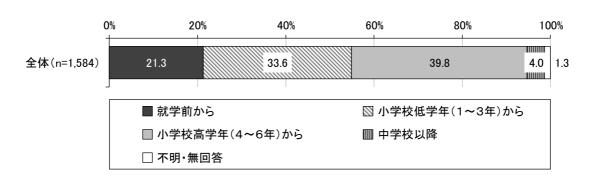
問 37 あなたは、子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり(ネットワークや 団体)は必要だと思いますか。(1つに〇)

子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり(ネットワークや団体)は必要だと思うかについてみると、「ある程度は必要である」が 60.6%と最も多く、次いで「大いに必要である」が 23.0%となっています。



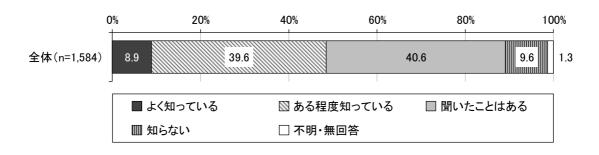
問 38 性教育には、こどもたちが性被害等から自分を守るための人権教育が含まれます。 性教育をこどもに受けさせるのは、いつ頃からが望ましいと思いますか。 (1つに○)

性教育をこどもに受けさせるのは、いつ頃からが望ましいと思うかについてみると、「小学校高学年(4~6年)から」が39.8%と最も多く、次いで「小学校低学年(1~3年)から」が33.6%となっています。



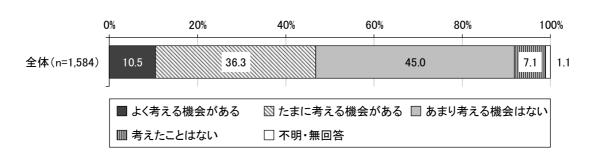
問 39 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、 安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含 まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

「こどもの権利」の認知度についてみると、「聞いたことはある」が 40.6%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が 39.6%となっています。



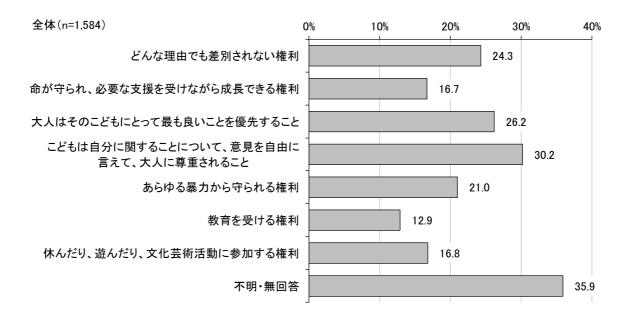
問 40 あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。(1つに○)

「こどもの権利」について考えることはあるかについてみると、「あまり考える機会はない」が 45.0%と最も多く、次いで「たまに考える機会がある」が 36.3%となっています。



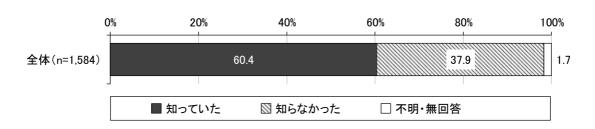
問 41 あなたは、あなたのまわりのこどもについて、次にあげるような「こどもの権利」 が守られていないと感じるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

自身のまわりのこどもについて、「こどもの権利」が守られていないと感じるものについてみると、「こどもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」が 30.2%と最も多く、次いで「大人はそのこどもにとって最も良いことを優先すること」が 26.2%となっています。



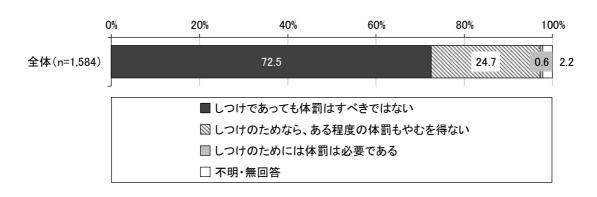
問 42 児童虐待の相談窓口は、区役所や子ども家庭支援センターをはじめ、地域の各保育園、幼稚園や児童館などでも相談を受けつけています。あなたはそのことを知っていましたか。(1つに○)

児童虐待の相談窓口は、区役所や子ども家庭支援センターをはじめ、地域の各保育園、幼稚園や児童館などでも相談を受けつけていることを知っていたかについてみると、「知っていた」が 60.4%、「知らなかった」が 37.9%となっています。



#### 問43 あなたは、しつけと体罰の関係についてどのようにお考えですか。(1つに○)

しつけと体罰の関係についてどのように考えるかについてみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」が 72.5%と最も多く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」が 24.7%となっています。

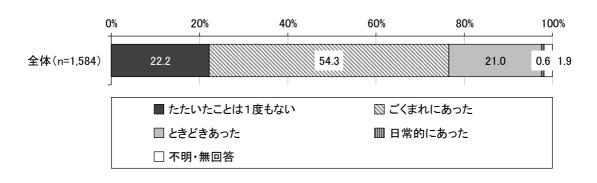


問 44 あなたはこれまでに、こどもをたたいたことはありますか。(1つに○)

これまでにこどもをたたいたことはあるかについてみると、「ごくまれにあった」が 54.3%と最も 多く、次いで「たたいたことは1度もない」が 22.2%となっています。

子育てに関する不安感や負担感別(問 30)にみると、不安や負担を感じないほど「たたいたことは1 度もない」の回答が多くなる傾向がみられる一方、不安や負担を感じているほど「ときどきあった」と する回答が多くなる傾向がみられます。

しつけと体罰の考え方別にみると、体罰の必要性を認める考え方を持つほど、「ときどきあった」と する回答が多くなる傾向がみられます。



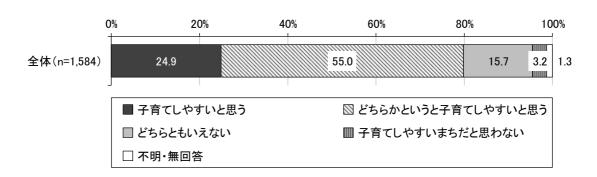
# ○クロス集計【子育ての不安・負担感別、しつけと体罰の考え方別】

6			問44 こども	をたたいた紀	<b>E</b> 験	100	
(%)		n	たたいたこ とは1度も ない	ごくまれに あった	ときどきあった	日常的にあった	不明·無回答
	非常に不安や負担を感じる	189	15.3	52.4	30.2	0.5	1.6
問30 子育	なんとなく不安や負担を感じる	611	20.8	54.3	22.7	0.5	1.6
てに関する不安感や負	あまり不安や負担は感じない	589	24.6	57.0	16.3	0.7	1.4
担感	全く感じない	70	31.4	51.4	15.7	-	1.4
	なんともいえない	76	31.6	43.4	21.1	1.3	2.6
	しつけであっても体罰はすべきで はない	1,149	28.2	56.2	14.8	0.1	0.7
問43 しつ けと体罰の 考え方	しつけのためなら、ある程度の体 罰もやむを得ない	391	5.4	52.2	40.4	1.8	0.3
7,7,7	しつけのためには体罰は必要である	9	33.3	22.2	33.3	11.1	92

## 問 45 江東区は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

江東区は子育てしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらかというと子育てしやすいと思う」が 55.0%と最も多く、次いで「子育てしやすいと思う」が 24.9%となっています。

地域の支援の実感度(問 35)や見守りの実感度(問 36)別にみると、支援や見守りを実感している方ほど、「子育てしやすいと思う」の回答が多くなる傾向がみられます。

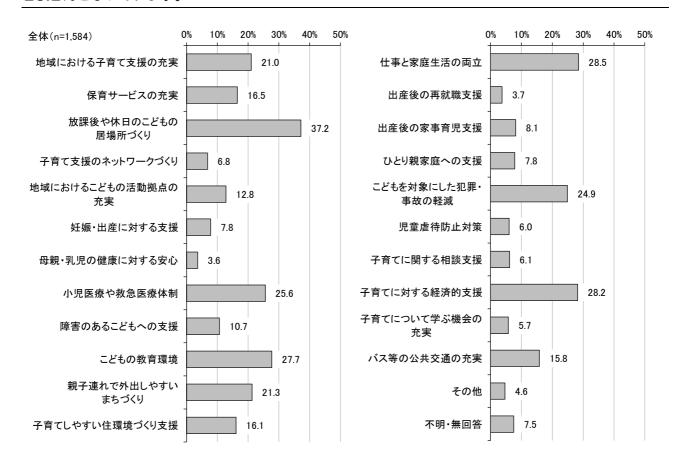


# ○クロス集計【地域の支援の実感度別、こどもの見守り実感度別】

G.			問45 江東	区は子育てし	やすいまちた	と思うか	
(%)		n	子育てしやすいと思う	どちらかと いうと子育 てしやすい と思う	どちらともい えない	子育てしや すいまちだ と思わない	不明·無回 答
	とても感じる	105	71.4	24.8	1.9	1.9	77 <u>22</u>
問35 地域	たまに感じる	617	34.8	56.6	7.9	0.5	0.2
の支援の実	あまり感じない	580	13.3	62.9	21.6	2.1	0.2
感度	まったく感じない	181	8.8	36.5	35.9	18.2	0.6
	どちらともいえない	80	13.8	77.5	8.8	-	-
	とても感じる	133	63.9	30.8	3.8	1.5	: <del></del>
	たまに感じる	640	29.7	59.4	9.5	1.3	0.2
問36 見守りの実感度	あまり感じない	579	16.1	61.0	20.9	1.9	0.2
	まったく感じない	153	11.1	36.6	34.6	17.0	0.7
	どちらともいえない	58	17.2	67.2	13.8	1.7	702

問 47 区に対してどのような子育ての支援を希望しますか。もっとも希望するものを順に 5 つまでお答えください。また、選択した項目について、具体的にどのような支援 が必要かを下の自由記入欄にお書きください。(5 つまで○)

区に対して希望する子育ての支援についてみると、「放課後や休日のこどもの居場所づくり」が 37.2%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立」が 28.5%、「子育てに対する経済的支援」が 28.2%となっています。



そのほか、子育て支援についてのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

意見の内容については、「学校・学童への評価・改善」が 50 件と最も多く、次いで「経済的な評価・支援・改善」が 34 件となっています。

カテゴリー	件数
学校・学童への評価・改善	50
経済的な評価・支援・改善	34
子育て支援	31
子どもの居場所への評価・改善	15
アンケート	16
インフラ面への評価・改善	11
その他	76

<sup>※</sup>カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します (原則、原文のまま)。

#### ①学校・学童への評価・改善

- ◆ 各学校で学習面、子ども支援面などバラつきがあるのが気になります。学校の個性もあるので全て 共通にする必要はないが、ある程度は統一してもらいたいです。共働きの家庭が多い中、PTA の活動が負担に感じるという話を聞きます。行事が多いとこどもが喜びますが、保護者が大変になると意味がないように感じます。行事の数を減らし、その分充実させたり、その都度手伝いを募集するなど、みんなが気持ちよく PTA に参加出来る環境がつくれるとありがたいです(外部業者に委託など)。
- ◆ 海外交流や海外研修など、グローバル教育を増やしてほしい。
- ◆ 地域によって小学校の生徒数が多すぎたり、外国人だらけだったり、学級崩壊があったり、新しいマンションが出来て遠くの学校に学区を変えられてしまったりと問題が多く、私立に通う選択をしました。公立に安心して通えればその方が子どもにとっても登下校の時間やお友だちのことなどベストだと思います。今は江東区から子育て支援をしてもらっているという意識はありませんが、今後少しずつでも変わっていく事を願っています。
- ◆ 現在学童を利用しています。長期休暇中の毎日のお弁当は負担に感じます。有料でも、バランスの とれた食事があると助かります。
- ◆ 区の教育に対するレベルを上げるための補助が子育て支援に大きくつながると思います。また、区立の小学校での対応が、こども目線なのか疑問を感じる。何かともめ事に対する学校の責任回避のための規則が家庭の経済負担を高めている気がする。
- ◆ 私学に入らなければ十分な教育が受けられないという状況にならない様、公立の中学高校の教員の 充実、先生方の待遇の改善などをして頂きたいです。お金がかかるところへの支援より、お金がか からなくても済むようにしてほしいです。
- ◆ きっずクラブA登録で、休日も8時から普通に利用できるようにしてほしい。スポット利用もできるが、長期休暇日に毎日利用すると高額になってしまうので。もしくは、B登録を6年生まで利用できると仕事をしている親にとっては安心です。

- ◆ 小学校は紙の負担が大きすぎるので、先生とのコミュニケーションや各種申込等の手続きも 100%IT 化してほしいです。ランドセル重すぎです。
- ◆ 自立できる大人になる為の受け身ではない学校教育が出来るような支援を希望します。地域との交流活動、プレゼン授業等。
- ◆ あまり重要じゃ無い事を守らせる事に力を入れ過ぎて、学校が窮屈な場所になりつつあります。こ ども達が将来自分で考えて道を開くために必要な教育環境を今一度見直して欲しいです。

#### ②経済的な評価・支援・改善

- ◆ インフルエンザ予防接種の助成を、高齢者だけでなく、せめて、義務教育中の年齢も対象にして頂きたいです。
- ◆ こども1人につき、3万円のクーポンは、とても有り難かった。しかも、現金ではなく、通知の紙 とスマホだけで、手続き完了だし、確実にこどもに使えるものが買える。提携先で、センスを感じ ました。一方、インフルの予防接種が有料に戻り、キツかったです。
- ◆ 第二子保育料無償化や給食費(小学校)無償など、大変助かっております。更に子育て世代が育児 しやすい環境を整えて下さることを願っています。
- ◆ 手当や一時金等なぜ非課税世帯が手厚く受けてその原資となる納税している世帯が受ける事が出来ないのか理解に苦しみます。納税者が手厚い行政サービスを受ける事が出来ていない。困窮しているのは非課税・納税者すべて同じです。困窮しているからこそ一生懸命働き、税を納め、結果的に家事、育児の時間が取れなくなっています。決して非課税世帯を助ける為に家庭をおろそかにして働いているわけでは有りません。非課税世帯は安易な道を安易な選択してきた結果です。「助けるな」とまでは言いませんが納税者をおろそかにすべきでは有りません。
- ◆ 幼児の時は地域のサポート、今は経済的なサポートがありがたいです。年齢が上がるとお金かかります。

#### ③子育て支援

- ◆ 格差社会が広がる世の中ですがせめてこどもの間だけは格差を感じることのない平等な教育、生活 支援が必要です。誰ひとり将来をあきらめることのないこどもまんなか社会にして欲しいです(= こども達が生きる希望を持てる社会)。
- ◆ 生活をする為に、働かなければいけないが、働く為にこどもを預ける場が必要。こどもが体調を崩せば、働けなくなる。また、毎日分刻みの生活で、ゆとりが無いとこどもへの接し方が変わってきます。こどもが幸せに生活する為に、区としてどのように支援介入すると、よりよく生活できるのか、検討していただければと思います。
- ◆ 保育施設の充実、放課後サービス、共働きは子育て支援なのでしょうか?こどもは本当に喜びますか?お母さん(お父さん)がいてくれる時間を望んでいる子もいるのでは?働く世帯に支援を向けるだけでなく、家でこどもを育てる世帯にも温かい支援を望みます。(こどもを育てる事に差はありません。)
- ◆ 江東区は子育てにおいてソフト、ハード共に、様々な取り組みをしていると感じる。出産前~妊娠 ~乳幼児~保育園~小学校と子の成長につれ悩みや困りごとは変わっていくので、それぞれの年齢、 状況に合わせて、必要な支援や居場所、相談先があればありがたいです。

#### ④子どもの居場所への評価・改善

- ◆ 幼児が、遊ぶ公園は多くあるが、小学生~中学生のこどもが走りまわったり、思いっきりボールを 投げたり、蹴ったり出来る場所が無さすぎる。だから家に居て、ゲーム、パソコン、スマホばっか りになる。マンションばっかり作らせないで、こういう場所を作って欲しい。五砂小の校庭は、つ まづき易く、怪我をしやすい。他の学校でも、五砂小と同じ校庭にするのは、止めて下さい。小名 木川小学校の仮校舎へ、新1年生を徒歩通学させるのは、無理があると思います。登校拒否になる と思います。中学の部活の活性化。校庭の有効活用。
- ◆ 共働きだと、放課後できる習い事や公園遊びにも制限がある。校庭で自由に遊ぶ、サッカーなどの 習い事に利用させるなどしてほしい。大学費用の無償化があれば、子育て世帯が転入してくると思う。
- ◆ こどもがのびのび遊べる公園や学校の開放。キッズAの充実。(たんに居場所だけではつまらないと言っています。)スポーツや学業にこども達がどんどん興味持てるように企業と連携して、活発化してほしい。
- ◆ 現状、グレーゾーンのこども達の4年生以上の放課後デイサービスを利用できる施設が極端に少な く、きっずクラブBの利用も3年生までとなっており、4年生から放課後の居場所問題に頭を悩ま せている状況です。
- ◆ こどもだけで安全に遊べる場所が少ない。

#### ⑤アンケート

- ◆ このようなアンケートは良いと思うが、絶対 web がいい。その方が回答率も上がると思う。
- ◆ このような形で、子育てしている親へアンケートして下さるというのは、とても有り難いです。初めての子育てで、今後のお金のかかり方、教育の事、分からない事、不安な事だらけなので、そういった親向けのセミナー等あると、勉強したいです。
- ◆ アンケートをとるなら、ぜひ、皆さんの声を聞き、良い政策を打ち出してください。

#### ⑥インフラ面への評価・改善

- ◆ 公園があまり綺麗ではないと思う。以前、他区に住んでおりましたが、比べると汚れている。(タバコ、缶ジュース、酒、お弁当カス) 江戸川区は、とても綺麗だと思います。区によって、何が違うのでしょうか?お金の掛け方とか?
- ◆ 図書館の充実は非常によいです。学校において、学習の理解度が低い場合の支援があると家庭の負担にならず良いと思います。
- ◆ デイホームなど高齢者施設はどんどん増えるのに、こども向けの施設は全く増えない。区がそこを 補ってほしい。
- ◆ 経済的負担が大きい現在、それに対しての支援、また気軽に外出できる場所が出来る、近くに安心して行ける大きい病院の小児医療機関などが出来ると子育てし易いと思います。
- ◆ 歩道も車道も広くしてこどもが安全に外出できる環境づくりをして欲しい。

#### ⑦その他

- ◆ 区の施策やイベントなどの情報が伝わりにくいので、積極的に公表、周知させるような動きを取ってほしい。
- ◆ こどもが、どこを歩いても安心出来て、遊びも自由に好きな事が出来る安全管理が必要。公園の見回りや見張り、裏道の危険な運転の取締りなど。
- ◆ こどもがこどもに対して犯罪を犯す事が最近増えたように思える。家庭環境なのか、厳しい担任に したところでその先生が休みだと結局荒れている。犯罪予備軍かなと思われる子が多い。犯罪を犯 さないようにやんわりとでも指導は出来ないものか。自転車の運転など指導されても凄い運転をし ている子が多い。ミラーを増やして電柱を減らして欲しい。防犯カメラももう少し住宅地に付けて 欲しい。
- ◆ 区立保育園の内容充実を望んでいます。職員が増えて欲しいです。
- ◆ 公立幼稚園や、公立小学校の教育や、先生方、設備、どれも素晴らしいと思います。しかし、公立 幼稚園は、どんどん園児が少なくなって行って残念です。3年保育になってくれる事、公立幼稚園 でも、給食が始まる事、期待しています。
- ◆ 「こども誰でも通園制度」の、実施をお願いしたいです。又は、国立の公立幼稚園で、預かり保育 (して欲しい人、誰でも全員利用可能)。仕事を探すにも、まず、預かり先が無いと難しい。入園させて2カ月の期間内に慌てて探すのではなく、こどもが慣れて、落ち着いたタイミングで仕事を始めたいので。これからの江東区に期待しています。
- ◆ 区立幼稚園の延長保育が内容も回数も充実してほしい。
- ◆ 子育て支援に限ったことではありませんが、豊洲、有明等湾岸地域との扱いの格差(施設やイベントなど)に納得できません。区民税は同じ額払っています。昔ながらの地域も盛り上げてください。
- ◆ 北砂地区在住です。道幅が狭かったり公園が汚かったり公衆トイレが汚かったりして不便です。有 明地区のように清潔にして頂きたいです。
- ◆ 豊洲地域においてはこどもたちの遊び場が有りますが、お住いの家庭が増える事により利用可能な施設が大変混むようになってます。親子で遊ぶ場を増やして欲しいです。そして日本伝統的な文化、地域のこどもたちに手軽に参加出来る活動も増やして欲しいです。
- ◆ 子育てするママにとって仕事をしたくても(働きたくても)できない場合、職場や周囲の理解が得られる環境、社会になってほしいと思います。
- ◇ 障害児に対するサポートをお願いいたします。障害児の親たちにもっと相談できる場所作りをお願いいたします。
- ◆ いつまでも、共働きが出来るとは限りません。誰でも、事情が有って、途中から専業主婦になるリスクもあります。専業主婦が生きづらい世の中にはしてほしくないです。
- ◆ 児相の前時代的体制の改革と予算と人材を投入する。
- ◆ 子育てを支援するのではなく、区や行政が積極的に子育てをする気持ちでないと問題の解決には進んで行かないと思う。
- ◆ こどもに関する手続等の電子化でスマホ申請が可能に。
- ♦ 放課後に安く通えるような塾などが近くに有るといいなと思います。
- ◆ 有明地区でもスポーツチームを作って欲しい。こどもの習い事の場を作って欲しい。